

飯田市地域DX推進ロードマップについて(概要版)

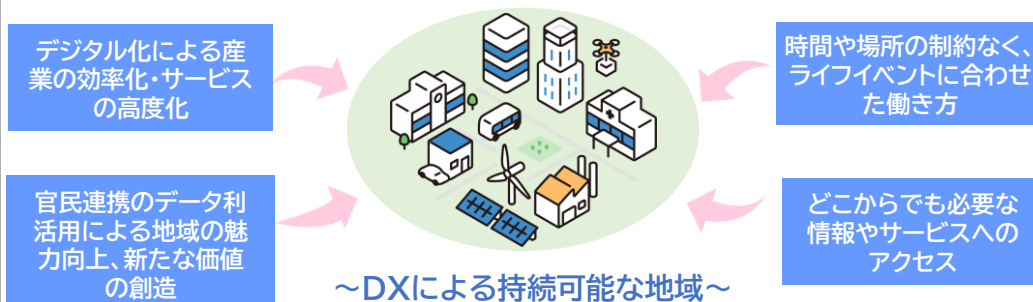
1 策定の趣旨

策定の背景

- 生成AIの登場やIoT、ビッグデータの活用などのデジタル技術が加速度的に進展し、市民生活に深く浸透
- スマートフォンやインターネットの普及・利用により、デジタル技術の活用を前提とした社会への変革が始まっている
- 人口減少や少子高齢化により、労働生産力や地域の担い手の減少、経済規模の縮小など社会構造的な課題が顕著化
- 自治体は限られた職員数や財源の中で、社会環境の変化に伴う市民ニーズへの対応や、効率的で質の高い持続可能な行政サービスの提供が求められている

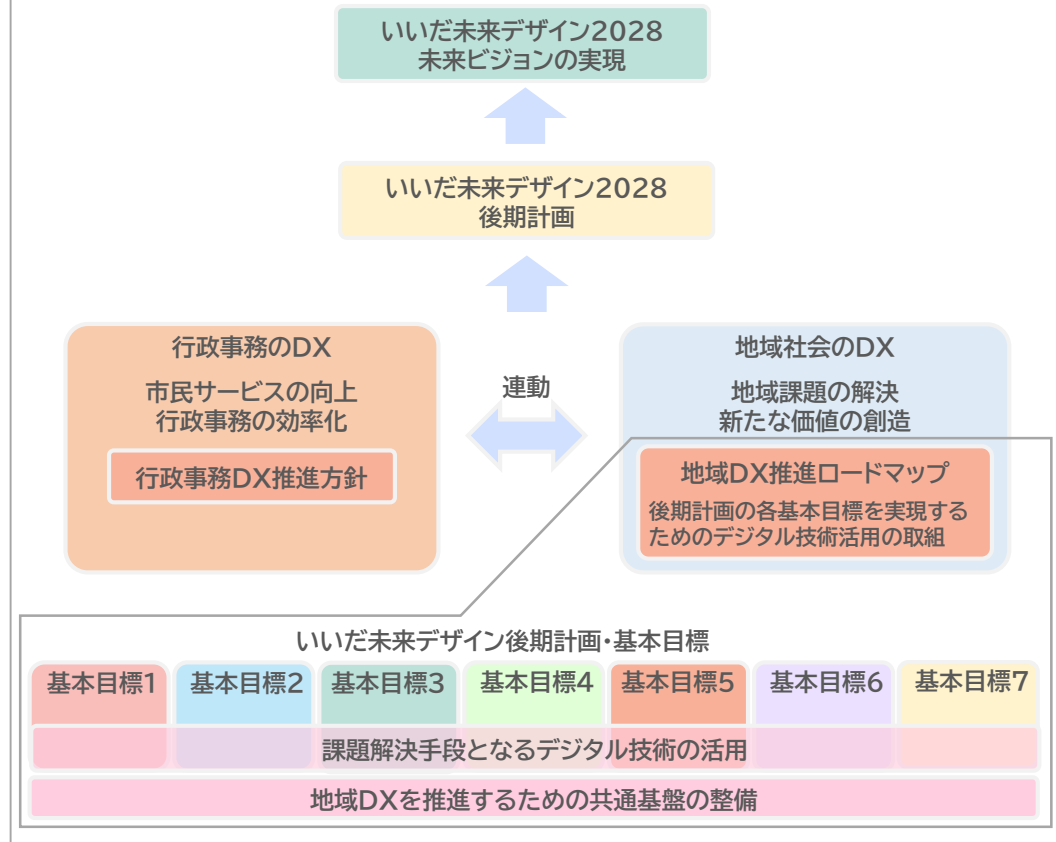
策定の目的

- デジタル技術を市民生活や産業活動などにおける様々な課題の解決や新たな価値やサービスを創出する変革の手段として活用
- 各施策分野においてDXを着実に推進し、誰もが利便性や恩恵が実感できる持続可能な地域社会の構築に取り組む



2 地域DX推進ロードマップの位置づけ

地域DX推進ロードマップは、令和7年度からのいいだ未来デザイン2028後期計画の各基本目標を実現するために必要な「手段としてのデジタル技術」を検討し、実装していくための取組をまとめ、行政事務のDXと連動して地域社会のDXを推進し、いいだ未来デザイン2028が掲げる未来ビジョンの実現を目指します。



飯田市地域DX推進ロードマップ(概要版)

3 デジタル技術の活用による効果

- リアルタイムな情報収集や共有が可能になる
例：災害時の状況や避難者情報の把握、交通状況や施設の混雑状況の把握、エネルギーの管理
- 時間や場所に制約されずに仕事や活動ができるようになる
例：リモートワーク、二地域居住、オンラインセミナー、リモート監視
- 先端技術が進展し生産性の向上やサービスが高度化する
例：スマート農業、ドローン配送、自動運転
- 地理的な制約を超えて情報やサービスへのアクセスが容易になる
例：コンテンツ配信、オンライン講座、デジタルアーカイブ
- コミュニケーションの円滑化が図られる
例：SNS、オンライン会議
- 「もの」を「データ」で置き換えることで利便性が向上する
例：電子マネー、地域通貨（ポイント）、電子チケット、電子地図
- データを元にした予測や分析により、戦略的な施策や新たなサービスが創出される
例：観光振興、健康推進、インフラの予防保全、サービス提供の個別化
- 業務効率が向上する
例：電子申請、ペーパーレス、データ連携

4 デジタル実装に向けた取組方針

次の3つの取組方針に基づいてデジタル技術を積極的に使い、デジタル実装による新たな仕掛けや仕組みをつくります。

取組方針 1

既存の取組の中にデジタル技術の要素をできるところから取り入れる。新たに始める事業はデジタル技術の活用を前提に計画する



取組方針 2

市民・地域自治組織・各種団体・教育機関等のステークホルダーと協力・連携して取り組む



取組方針 3

誰もが安心してデジタル技術を活用できるように、デジタルデバйд（情報格差）の解消やデジタル人材の育成に取り組む

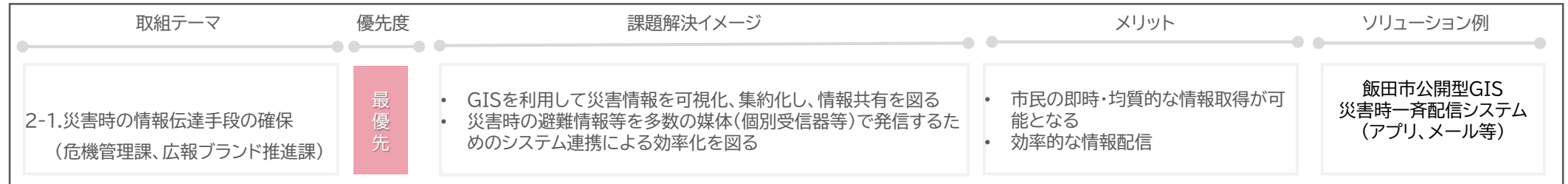


飯田市地域DX推進ロードマップ(概要版)

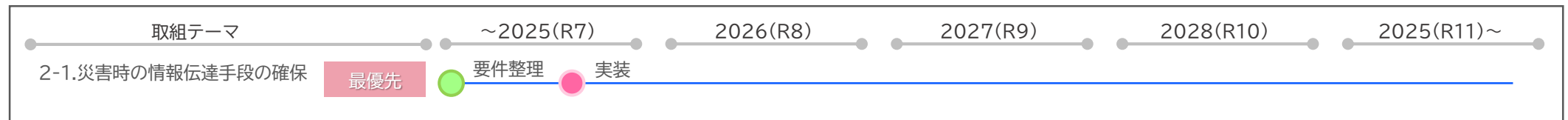
5 各基本目標におけるDXの取組テーマ

いいだ未来デザイン2028後期計画の基本目標ごとに、デジタル技術を活用した課題解決の取組テーマ、優先度、課題解決イメージ、メリット、ソリューション例と、デジタル実装までの取組スケジュールをマイルストーンとして示すことにより全体の進捗管理を行います。

基本目標ごとのDXの取組テーマ(表示例)



取組スケジュール(表示例)



基本目標	取組テーマ	デジタル技術を活用した課題解決イメージ(抜粋)
基本目標1 市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる	➢ 市政や地域への関心を高めるための情報発信 ➢ 持続可能な地域自治活動の推進 ➢ 文化財のコンテンツ化による地域の魅力向上 ➢ 文化財等の理解促進 ➢ 美術博物館での学びの場の環境整備 ➢ 飯田の魅力発信、学び推進のための総合的アーカイブの構築 ➢ 移住定住・関係人口づくりの推進 ➢ 空き家の利活用 ➢ 外国人住民が生活しやすい地域づくり ➢ 地域イベントの省力化	- デジタルツールを利用した市政情報や地域情報の発信 - 自治会や地域内の連絡手段のデジタル化 - 公開型GISを活用した文化財情報の提供 3DCG等による文化財等の学習・説明資料の作成、展示 - VR等を使った文化財等のデジタル展示 - 美術博物館、図書館、歴史研究所などが所有する資料等のデジタルアーカイブ化 - UIターン相談者情報の一元化や情報配信による相談対応の強化 - 官民連携による空き家情報の発信 - 翻訳ツール等を利用した外国語対応 - GPS等のデジタルツールやデバイスを活用した効率的で安心安全なイベントの実施

飯田市地域DX推進ロードマップ(概要版)

5 各基本目標におけるDXの取組テーマ

基本目標	取組テーマ	デジタル技術を活用した課題解決イメージ(抜粋)
基本目標2 人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる	➤ 災害時の情報伝達手段の確保 ➤ 災害時の迅速な避難者情報の把握 ➤ 災害時避難行動要支援者の個別避難計画の作成 ➤ 体験型防災学習 ➤ 被災者の迅速な生活再建 ➤ 消防団業務の効率化と負担軽減 ➤ 消費者トラブルの未然防止 ➤ 社会インフラの効率的な整備・改良・維持管理 ➤ 上下水道施設の災害対応力の強化	・ 公開型GISを活用した災害情報の可視化・集約化による情報共有 ・ デジタルツールを活用した避難者情報のデータ管理 ・ 防災アプリを活用した避難行動要支援者の個別避難計画の作成 ・ ARやVRコンテンツを活用した防災学習 ・ 被災者支援に係るデータの一元化 ・ 消防団アプリを活用した消防団員との情報共有、出動実績の把握 ・ 多様な媒体やプッシュ型による消費者保護情報の発信 ・ 公開型GISを活用した道路網図、上下水道管の埋設情報の共有 ・ 水位計センサーを用いた用水路の遠隔監視 ・ ドローンによる災害発生箇所の確認 ・ 災害発生時に公開型GISを活用した上下水道不使用状況の提供
基本目標3 ここ飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる	➤ 公民館活動の推進 ➤ 安心して出産や子育てができる環境の整備 ➤ 保育所等の現場の負担軽減 ➤ 教育DXの充実 ➤ 児童クラブの効率的な運営 ➤ 給食費公会計業務の効率化 ➤ 学びの場や学びの機会の充実	・ デジタルツールの活用による公民館関係者の情報交換や会議の効率化 ・ 子育て支援情報サイトやSNSを活用した情報発信 ・ 公立認定こども園の管理運営に関する業務支援システムの活用 ・ GIGAスクール端末等のデジタル機器を活用した教育環境の整備 ・ 児童クラブ利用保護者への通知やアンケートのデジタル化 ・ 学校給食費等の公会計システム化による会計事務の効率化 ・ 文化施設におけるスマホ、キャッシュレス決済による入場券の発行 ・ 出前講座内容のデジタル化、オンライン化
基本目標4 自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる	➤ 環境学習機会の創出 ➤ ごみの減量と3Rの推進 ➤ 環境保全に向けた行動変容 ➤ エシカル消費の推進 ➤ 省エネルギーの推進・再生可能エネルギーの活用促進	・ 環境教育教材の動画配信による環境学習の推進 ・ ごみ分別促進アプリの活用によるごみの適正な処分、3Rの推進 ・ 公共交通機関の利用や歩きの推奨によるCO2排出量の削減 ・ 動画配信を用いた小中学校でのエシカル消費の学習機会の創出 ・ 再生可能エネルギー由来の電力の供給量や消費量の見える化

飯田市地域DX推進ロードマップ(概要版)

5 各基本目標におけるDXの取組テーマ

基本目標	取組テーマ	デジタル技術による課題解決イメージ(抜粋)
基本目標5 誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる	➢ 営農者の高齢化対策・後継者支援 ➢ 森林資源の利活用推進 ➢ 事業承継者問題の解決 ➢ 多様な働き方ができる場の創出 ➢ 中小・零細、高齢事業者のデジタル化支援 ➢ 観光サービスのデジタル化推進 ➢ 戦略的な観光振興 ➢ 地域内経済循環の推進 ➢ 製造業のDX推進 ➢ 空の空間利活用による新産業の育成 ➢ 新産業の育成	• デジタル技術の活用による安定的な農業生産の確保 • 架線集材、ドローンやIT技術等の活用、高性能林業機械の導入支援 • 事業承継に関する情報取得環境の整備、後継者人材バンクの活用 • デジタルキャリアを形成し、ライフステージに応じた柔軟な働き方が実現できる環境の整備 • デジタルツールを活用した消費者ニーズへの対応、事業の効率化 • 観光施設での観光情報、道路情報、人流のヒートマップの配信 • 観光人流データの分析、データに基づく観光戦略の立案 • 地域通貨等のデジタルツールの活用による地域内店舗利用、地域内流通、外貨獲得 • 人材不足・業務平準化・生産性向上等におけるDX化・自動化促進 • ドローンの利活用、次世代空モビリティ分野の地域産業化 • 地域内IT・IoT事業者の企業力強化によるIT系競争力の強化
基本目標6 誰もが生涯を通じてその人らしく暮らすまちをつくる	➢ 民生委員・児童委員の負担軽減 ➢ デジタルデバイドの解消 ➢ 医療・介護サービス提供体制の維持 ➢ 健康増進・介護予防	• 福祉台帳、高齢者台帳の電子化とタブレットを利用した台帳の管理 • 誰もがスマートフォン等の機器やアプリを活用できるようになるための講座の実施 • 専門的人材の確保に向けたSNSなどによる情報発信の強化 • 介護予防や健康増進のための身体活動の増加や運動習慣の定着に向けて、健康ポイントを地域ポイントとして活用
基本目標7 リニア・三遠南信道時代に向けたまちの基盤をつくる	➢ 都市計画情報のオープンデータ化 ➢ 3Dデータ活用による土地利用及び景観等の検討 ➢ 持続可能な地域公共交通の構築 ➢ 公共交通の利便性向上	• 公開型GISを活用した都市計画情報のオープンデータ化 • 3D都市モデルの整備、オープンデータ化による、土地利用や景観づくりへの活用 • デジタル技術を活用した公共交通のニーズ調査や、移動需要に対するデータの収集 • 自動運転技術導入に向けての実証実験の実施 • バスロケーションシステムによる路線バスの運行位置情報の提供

飯田市地域DX推進ロードマップ(概要版)

5 各基本目標におけるDXの取組テーマ

基本目標	取組テーマ	デジタル技術による課題解決イメージ(抜粋)
共通項目 地域DXを推進するための基盤整備	➤ 地域連携によるデジタル人材の育成 ➤ デジタルデバイドの解消[再掲] ➤ データの整備と活用 ➤ シビックテックの推進	• 高等教育機関や地域内のICT事業者等と連携したデジタル人材の育成 • 誰もがスマートフォン等の機器やアプリを活用できるようになるための講座の実施 • 行政が保有する情報をオープンデータとして整備し、公開する • 市民が自らデジタル技術を活用して地域課題の解決に取り組めるように、地域DX推進の機運醸成を図る

6 地域DX推進ロードマップの推進体制

- 異なる分野間で共通するソリューションは、関係する部門が連携して検討チームを構成して推進することで、デジタル化による相乗効果を創出します。
- デジタル技術を取り巻く環境の変化が激しいため、年度ごとに取組内容や優先度、実装時期などの見直しを行い、適時に最適なデジタル技術の活用を図ります。

共通ソリューションの例	関係する活用分野			
情報配信ツール	広報	防災	公民館活動	地域自治
公開型GIS	建設	上下水道	文化財	防災
動画コンテンツ	文化財	環境教育	生涯学習	防災教育 観光
翻訳ツール	多文化共生	窓口案内	公民館活動	観光
デジタルアーカイブ	文化財	図書資料	美術・博物	史資料
デマンド交通	公共交通	観光	福祉	
キャッシュレス決済	商業	観光	文化施設	公共交通
地域通貨・地域ポイント	商業	観光	公共交通	健康・福祉 地域活動
スマートグラス	農業	美術・博物		
ドローン	建設	林業	工業	防災
遠隔監視	建設	環境		
工事関係電子申請	建設	上下水道		

ソリューションごとに検討チームを構成